



CONTENTS

- ▶ 1面 第31回市長・教育長と語る会
- ▶ 2面 世界に羽ばたく所沢っ子と家族特集
- ▶ 3面 市P連の活動
- ▶ 4面 椿峰小学校PTA事業恐竜教室
- ▶ 5面 市内の学校の周年事業
- ▶ 6面 自転車保険について

発行 所沢市PTA連合会
 編集 所沢市PTA連合会中央ブロック
 (所沢小・北小・清進小・明峰小・若松小・所沢中・向陽中・中央中)
 24,500部

- 1 重点課題を明確にしたPTA活動の推進と情報発信
- 2 子どもたちの健全育成のための各種審議会との関わりの中で、研修を深め、学び実践するPTA活動の推進
- 3 単位PTAをつなぐ要として、つながり、達成感をもち、親としての成長を実感できる活動の推進

第31回 市長・教育長と語る会



◀石川郁絵・三ヶ島中学校PTA会長
 大城隆久・上新井小学校PTA会長



▲中島秀行教育長、藤本正人市長



▲猪口茂・若狭小学校長
 熊本純利・北野中学校長



コーディネータ：岡本隆幸・小手指中PTA会長▲
 司会：木本達也・北野小学校PTA会長



【相談や連絡の手段について】

PTA会長「仕事の都合であまり学校に行けないので、電話かメールになる。学校とのやり取りにLineworksなど新しい仕組みが導入できないか。」「うまくSNSが活用できないかなと思っている。」

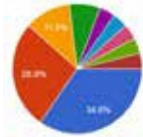
学校長「学校の携帯はガラ携だ。教育委員会では、個人によるSNSを禁止しているの、どのようなものがあるかを知りたい。」「SNSは教職員個人ではなく、学校としての窓口があればいいと思う。SNSでなくても情報共有はできる。」

会場から「Lineworks上で会議室の予約や学年だよりの原稿などを確認している。グループ分けもできるので、学校にスマホなどを置いてもらえないか。」

PTA会長「学校の先生は仕事として、会長はプライベートとしてという立場の違いで使うツールが変わるのはやっかいだ。同じツールでシームレスにやりたい。」

教育長「会長とのやり取りは、SNSに設定を変えていく可能性はある。ただ、単純な連絡以外の指導・相談・苦情・打ち明け話は対面でやらねばならない。」

どのような手段で連絡や相談をしますか

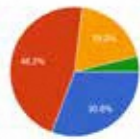


- 電話で連絡先について
- 電話
- メール
- SNS
- 電話かメールで
- 学校で連絡取る
- 上記すべて
- メール・電話・LINE
- その他

【親の意見や要望をどうやって学校に伝える？】

PTA会長「連絡は教頭先生に集中するが、重要な事案は、校長先生との話し合いが頻繁に行われた。PTAと学校のやり取りのガイドラインがあるとよい。」「PTAの運営の相談はスムーズだが、センシティブな内容の相談窓口は、時々もやもやがある。」

PTAは、学校に保護者の意見や要望を伝えていますか



- よく伝えている
- ときどき伝えている
- あまり伝えていない
- まったく伝えていない

学校長「一番相談しやすい先生に相談してもらえれば、校長にも伝わる。」「PTAの窓口は、教頭が渉外担当なので多いのだろう。会長と校長との話し合いは、学校全体に関わることや教頭では判断できないことなどだ。」

会場から「PTAと学校のよい関係を築くために、学校に行く时必须校長室をノックしている。」

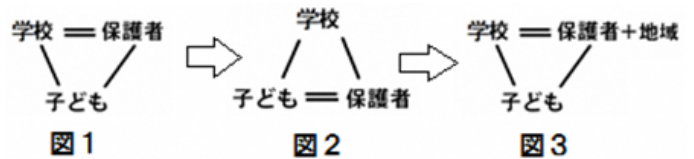
学校長「電話よりも直接会えた方がいい。」「かしまわって話しては、お互いに本音が言えない。仲良くなるのは大切だ。コロナ禍でも本部役員は学校に集まった。」

教育長「会長と校長が信頼関係で結ばれた上で、直接話し合うよう時間を取ってもらうといい。」

市長「校長先生がゆとりをもってゆっくりと話が聞けるようなぬめっこい関係ができるといい。」

【まとめ】

教育長「下図1のように、かつては学校と保護者が同じことを言っていたが、今は、図2のように、子どもと保護者が同じになった。そこで、地域と保護者をつないで、学校と保護者・地域が一体となって子どもを育てるためのコミュニティスクール構想（図3）を始めている。」



PTAや教師のとらえ方や子育てなど圧倒的に変化しており、この現状の中でどううまくやれるかを探る必要がある。PTAとの連絡や運営のしかたなど、新しいものに変えていく努力は必要だろう。行政も、現場の校長先生も、そしてPTAの皆さんと、一緒になって、高めていきたい。『子どもは宝』だからこそ、子ども優先の根本的な議論が必要と考えている。」

市長「家庭教育学級について、議会でも家庭の大切さを訴え、保護者に学んでもらい、互いにつながってほしいとお伝えしているが、うまく伝わらない。会って話す「その場」性は大切だと思う。教育長から、社会の変化に応じて、新しい目標、新しい活動をやろうという話があった。学校はビジネスとは違って、一人一人の良いところを伸ばし、みんなが主人公になれるところだ。」

PTA役員の方々と会員方、先生たちが、コミュニティスクールという新たな考え方を題材にしながら、新しい『おらが学校』を創ってもらいたい。」

世界に飛ばたく所沢っ子と家族特集

夢はグランドスラム、センターコート!!
辻岡史帆さん+辻岡明子さん(母) 昨年度向陽中学校卒業

○テニスを始めたきっかけは?

—お兄ちゃんといっしょにテニスの体験に行ったら楽しかったので始めました。

○本格的に取り組み始めたのは?

母—6年生の時にセムスガールズカップという全国大会にコーチに出てみればと言われて、優勝したのがきっかけ?

—勝てると思って出たのではなく、出たら優勝しちゃって、トップを目指す感じにうつった感じかな。

母—それがきっかけで海外遠征のチャンスももらえ、海外の全く知らない環境で、海外の選手とテニスをやる経験して大きく変わりました。

—海外遠征に行った後、全国大会がまたあって優勝して、自分に自信がついて、もっと上を目指してみようかと思いました。海外よりも日本の方が「勝てるでしょう」と思われるのでプレッシャーがあります。

○遠征で大変なことは?

—日本のごはんが一番おいしい、白米が食べたくなります。ホームシックとかは全くない。

○勉強との両立は?

母—小学校、中学校の時、校長先生が学校に大会でこれないことを理解してもらえ、とてもよくサポートしてくれ、恵まれていました。テストは一度も休むことはなかったので、文武両道は目標でした。友達にも恵まれました。

○テニスをやっていて楽しいこと、つらいことは?

—勝った時は楽しいけれども負けた時はつらい。練習もつらいけど、勝つためと思って頑張っています。

○負けたときに家族から何か言われますか?

—親からは、テニスのことは何も言われないので、気は楽です。母—言いたいことは我慢するようにして、コーチに一任しています。

○将来について話し合うことは?

母—具体的にはないが、トップアスリートとしては一生できないので、その経験を生かして有意義なセカンドキャリアを築けるといいねと話すことはあります。普段から定期的に意識しています。

—今は、グランドスラムに出て、センターコートで勝つという



辻岡史帆さん

辻岡明子さん(母)

のが夢です。

○ライバルは?

—ライバルはいっぱいいる。世界中に私より強い人、同じくらいの人はいっぱいいます。試合中にうまくいかないときに落ち込んだりすることがあるので、うまく自分を鼓舞できるようにしたいと思っています。

○ジंकスはありますか?

—全くない。気にしていたら、それができなきゃ無理みたいになるよりは特に気にしません。

母—ルーティーンみたいなものを創ったらプラスになるかもしれないかな。

これからも海外の大会が続くそうですが、お母さんが作ってくれる大好物のローストビーフを食べて、さらなる活躍を期待しています!



主な戦績

2019 12歳以下全国選抜ジュニアテニス選手権大会優勝

2021Wogld Junior Final 日本代表5位入賞

2022リボピタン国際ジュニア in 久留米単複優勝

2022MUFG全国ジュニアテニストーナメント優勝

2023年全豪オープンジュニア出場

ドローンで世界にチャレンジ!!
上関風雅くん+上関竜矢さん(父) 三ヶ島中学校1年生

○ドローンを始めたきっかけは?

—お父さんがドローンの空撮をしていて、レースがあるのを知って、やってみたら面白かったので始めました。小学校2年生の終わりごろです。

父—2015年ごろ、世の中でドローンという言葉が出始めたころで、仕事で海外から輸入して始めました。息子を巻き込みたい感じかもしれません。

○ドローンの面白さは?

—自分が普段見えないような視点で、鳥のように自由に空を飛ぶことができます。

○風雅君の強さは?

父—メンタルが強いほうかな。相手に動じない、周りに左右されないところですかね。逆に自分が悪いと負けちゃう。



上関風雅くん

上関竜矢さん(父)

(本人) 飛ばしこめば、その分自信がついてくると思っています。
○レースのスピードってすごいですよね。
 父ー若い子たちの動体視力はすごい。コースは見ないで、記憶した立体的な配置を正確に再生している感じ？
 ーたぶん。大会のコース(600m)は、一回飛ぶとだいたい覚えちゃう。
○ドローンのレースシーズンはどんな感じなんですか。
 父ーシーズンになると、4月から11月まで毎月日本中を北海道から沖縄まで転戦するので、結構きついですね。
○勉強との両立は？
 ー勉強は苦手ですけど、テスト勉強はするようにして、両立を頑張っているつもりです。
○ライバルはいますか？負けて落ち込むことはある？
 ーレースになればライバルはいて、負けるのは悔しい。でも、落ち込みはしないです。また、練習を頑張ろうみたいな感じですよ。負けてやめたって思ったことはないです。ドローンをやらせてもらっているんで。
 父ー家族会議をやっています。非常にお金のかかるスポーツなので、これからドローンが活性化される社会で、必要なメンタルや技術を体感して、その培ったもので社会に戦いに行くんだったらドローンレースを続けてもいいよ、って話し合いました。

○将来は、どんなことをやりたいですか？
 ードローンで何かできればと思っていますが、その何かはまだはっきりとはわかりません。
 父ードローンを使った職種はまだ名指しができないが、今後仕事は増えていくと考えています。イノベーションというところからいけば、妄想する人、奇想天外なことを言い出す子になってほしい。
 航空発祥の地、所沢市だからこそ、ドローンが市の魅力につながることを楽しみにしています。今年の8月にドローンのお祭りなども開催予定ということで、いよいよドローンに注目です！お母さんが作る大好物の唐揚げで、さらなる活躍を期待しています！



主な戦績

- 2019年 JAPAN DRONE LEAGUE 2021 プロクラス Round2 優勝
- 2020年 インターナショナルドローンレース(フィリピン) 準優勝
- 2021年 JAPAN DRONE LEAGUE 2021 プロクラス年間優勝
- 2022年 The World Games (アメリカ) 日本代表 世界6位

～PTA 会長さんの勉強会～

PTA 会長等研修会が、2回にわたり、オンライン併用で開催されました。主な内容と参加者数を報告します。

第2回PTA 会長等研修会 11月16日(水)

「所沢小学校PTA改革の取組」

☆話題提供者：

所沢小学校PTA会長：鶴田紳さん

所沢小学校校長：戸村達男先生

参加者数：51名 (PTA会長 + 校長先生)



第3回PTA 会長等研修会 2月4日(土)

「未来のPTA会則を考えてみよう

見える化、柔軟で多様な活動にするには！」

☆話題提供者：市P連東ブロックの皆さん

参加者数：29名 (PTA会長 + 校長先生)



大震災後の72時間をどう生き延びるか

視察研修会が、江東区有明の「そなエリア東京」で行われました。大震災後の支援が少ない72時間をいかに生き抜くかを学ぶ体験学習ツアーに挑みました。



市内で表彰されました

交通安全功労団体として明峰小学校が、所沢市地域安全功労団体として所沢小学校PTAが表彰されました。所沢小学校の「かけこみ110番探っこゲーム」は、4月には全小学校へ配布します。



椿峰小学校は楽しい学校!

2022
PTA文化行事

恐竜イベント誘致

2022年10月26日(水) 恐竜作家 原嶋剛愼氏を講師にお迎えし、椿峰小学校体育館にてPTA親子文化行事『恐竜教室』が盛大に開催されました。

子どもたちが喜ぶことをやりたい! 多すぎる繰越金をどう使うか?夏前からPTAでアイデアを出し合い、企画。打ち合わせを繰り返し、学校とも相談しながら体育館の設備でできる限りのことを考えました。また、イベントに先駆け、原嶋氏制作の恐竜ジオラマを数体お借りし展示。展示作品の中から人気投票企画「椿峰☆総選挙 推し恐竜に1票を!」と同時に講師への質問も募集。投票はオンライン。親子・先生ともにムードを盛り上げていきました。また、デザインが得意な保護者にはイベントポスター製作を依頼し、校内は恐竜だらけ。アイデアいっぱい手づくりで"できる人ができる時にできることを"組み立てていきました。

当日は真っ暗な体育館にランタンの灯りのみ! BGMは鳥の鳴き声や水の音。ジャングルに迷い込んだような世界観を演出。YouTube限定公開配信のために先生にも多大なお力をお借りしました。イベント前半のトークでは原嶋氏の恐竜愛が炸裂!後半は恐竜使いの校長先生の先導でオリジナルのリアルな恐竜が登場し、間近で走ったり鳴いたり!大人も子どもも大喜びで非日常の興奮を共有できました。恐竜は鳴いたよ?本当に生きていたの?中には●●先生が入っていたんじゃない??違うよロボットなんじゃないの!えっ?でも羽が生えてたよ?!、、、いろんな楽しい声が聞こえてきました。みんなの目が輝いていました。

好きを得意に! 我々人間も絶滅してしまわないように、自分らしい発想で好きなことをやり続け、得意を見つけて楽しもう。他者に対しても理解し、共感し、尊重しよう。喜びにあふれた調和した社会のなかで子どもたちも未来に希望を持って成長して欲しい。いろんな願いを込めて、今年度の文化行事は数年間でできていなかった学年行事の代わりとして実施しました。校長先生をはじめ教職員の皆様、保護者、原嶋様とクリエイターの皆様、たくさんの大人が子どもたちを喜ばせようと気持ちをひとつにしました。ありがとうございました。いつか楽しく思い返される日が来ることを願って。PTAからのサプライズプレゼントでした。

椿峰小学校 は大人が楽しく元気に そして大きな愛で 子どもたちを応援しています!

椿峰小学校ホームページ掲載>PTA活動報告

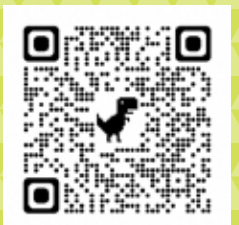


恐竜人気投票▶



◀恐竜教室

原嶋剛愼氏インスタ▶



市内の小中学校の創立記念事業を紹介します

所沢小学校 150周年

所沢小学校は今年、開校150年。加藤和伸委員長を中心とした実行委員会が「子どもたちの思い出に残る150年記念にしよう」をテーマに、さまざまなイベントを行っていただきました。

5月には航空写真を撮影、10月には記念運動会を実施しました。記念運動会の開会式では市長、教育長からご祝辞をいただき、多くのご来賓、ゲストのトコロん、コパトンとともに、開校150年を祝いました。約1300個の風船を一齐に空に放ったバルーンリリースは圧巻でした。

運動会の翌週は、150年記念スペシャル給食ウィーク。所沢牛のハンバーガーや所沢産豚肉の「みそかつ」、鯛めしなど、豪華な給食に子どもたちは大満足。2月には和太鼓と重松流祭囃子のスペシャルコラボコンサートも実施される予定です。

この150年記念事業では、いろいろな場面でボランティアを募集し、お手伝いいただきました。PTAのスリム化に取り組む中、「できる人が できる時に できることを」というPTAの今後の方向性がある程度具現化できた150年記念事業だったのではないのでしょうか。



泉小学校 50周年

I 事業内容

【1】記念式典

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓等、外部の方の参加なし。PTA会長及び校長のあいさつのみ、50年の歩みのスライド提示、児童による和太鼓の演奏を体育館で行い、オンライン配信しました。(6年生のみ参加)

【2】航空写真撮影

【3】記念物品(リーフレット・クリアファイル・横断幕)の作成及び配布

リーフレットと記念誌は、PTAのご協力により、コロナ禍の影響を受けた泉小卒業生(中学1~3年生)にも配布できました。

【4】50周年記念芸術鑑賞会

(PTAが観劇料補助)

II PTAによる支援

PTA予算に「周年行事積立金」を計上いただき、記念式典事業への人的、資金援助いただきました。

III その他

新型コロナウイルス拡大防止の観点から、PTAの了解を得、盛大な式典は実施せず、創立50周年を年間通して児童に意識化させたことで子どもたちの心に残る1年となりました。PTAのご理解の賜物です。



北中小学校 40周年

昭和58年2月15日に北中小学校は開校しました。昨年度から40周年について北中会の役員の方々話し合ってきました。「子どもの心に残り、ここが我母校、そして北中小学校ならではの何かを」ということで、正門の所に本校のシンボルとなるオブジェを立てることにしました。昨年度、子ども達からアイデアを募りました。

その中から、実現可能なものを北中会の方々2点に絞りました。2点のどちらにするかというのも「子どもたちに選んでもらう」ということになり、全校児童の投票の結果、当時6年生の谷川七胤さんの「ぶくぶく」に決まりました。次点となった作品は看板に描かれています。

制作・寄贈「不破塗装株式会社」、制作協力「株式会社アイシステム・ジャパン」、塗料提供「KFケミカル株式会社」、プリンター装飾「中村佐千子」様の皆様のおかげで「ぶくぶく」が今年度8月に完成しました。

北中会では、クラスごとに「ぶくぶく」と撮った写真と全校写真を全員に記念として、配布しました。

「ぶくぶく」は本校のそして地域のシンボルとして、本校の子ども達や地域の人々を見守っています。



安松中学校 40周年

本校は、令和4年11月12日(土)に創立40周年記念行事を挙行することができました。挙行するにあたって、本校PTA及び後援会、地域の皆様方には準備から大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

さて、この行事に対しては30周年から10年間の準備委員会を設置し、その各年のPTA本部役員や後援会役員の皆様方が中心となり会議を重ねてまいりました。本校の周年行事は、10年毎に実施されています。準備委員会では、50周年行事を盛大に実施することや周年行事の準備としての積立金などについて話し合われました。

PTAではPTA会計から毎年2万円とPTAバザーの売上金全額(毎年7.8万円程)の寄贈がありました。また、令和4年11月5日(土)には、PTA本部が主催となり「校内クリーンデー(記念行事の準備)」として樹木剪定、お花植え、落ち葉掃きなどを保護者・生徒・教職員で行いました。

日ごろから清掃活動に取り組んできましたが、PTAのお力をお借りできたことは大変助かりました。



北野中学校40周年

本校は昭和58年に所沢で14校目の新設校として創立開校し、本年で40周年を迎えました。40周年として大規模に実施するというよりは、30年から50年までの橋渡しをするという趣旨で40周年を祝すことといたしました。

PTAの方々には、実行委員として会長及び副会長が会議に参加をし、計画や運営に携わっていただきました。

事業としては、生徒や地域の方々の願いを記し掲示する『ピースフラッグ』のフラッグを作成するため、生地の切断や塗装、版押しを行っていただきました。『タイムカプセル開封・埋込』では、受付や卒業生の対応等をお願いしました。市長と教育長をはじめお世話になっている地域の方々をお招きし実施した『記念式典』では、主に会場案内・見回りや写真記録を担当していただきました。また、事業の運営の資金として、積立補助をいただくなど、PTAには多くのご協力をいただきました。



所沢市PTA連合会プロジェクト

①見える化プロジェクト

市内の他の学校のPTAがどんな運営をしているか、どんな活動の見直しをしているか情報提供します。

②会長等研修会

PTAの未来像を、改革に取り組む他校のPTAから学びます。それぞれの学校の実態にあった活動の見直しをめざします。

③ホームページからの発信

市P連の活動を発信して、見える化を図ります。また、事故の保険問い合わせ先など、いつでもアクセス可。

④ICT化の支援

子どもたちの教室で、ICT化が進むように、保護者にとってもICTツールが今や欠かせません。



PTA団体により **15%** 割引適用!

所沢市PTA連合会 会員の皆さま限定 **令和5年度**

自転車通学・通勤やサイクリング中などの事故への備えは万全ですか?

自転車利用者保険 団体傷害保険

万が一のリスクに備えましょう

ご加入のおすすめ

傷害総合保険 (普通傷害型・交通傷害型)

個人賠償責任補償 + 示談交渉サービス付 (日本国内のみ) 家族全員もれなく補償

子どもや家族が自転車事故で他人をケガさせたときの保険です!

埼玉県では、加入が義務付けられています!

所沢市でも、最近、市内在学生在が老人との自転車事故で、900万円の損害賠償の支払いが命じられました。
(損保ジャパンお支払いデータより)

過去には兵庫県で小学5年生の自転車事故で、9500万円の損害賠償が確定し、母親に支払いが命じられました。
(判決文で加害者の母親が支払いを命じられた額) 「2013年神戸地裁判決より」

もしもの時にみんなで備える団体保険のおすすめです。

選ばれる3つの理由

- 団体保険だから互いに支え合い **安心価格!**
ご加入人数によって、次年度の割引率(15%)が変わります。
- 個人賠償責任補償特約の**限度額は2億円!**
示談交渉サービス付き(日本国内のみ) 保険会社が示談交渉を行ないます。
- タイプによって、日常生活での賠償責任や部活などでのケガも**補償!**
詳しくは、P2・P3をご覧ください。

◆保険契約者 所沢市PTA連合会
◆被保険者 所沢市PTA連合会 会員の皆さま
◆保険期間 令和5年4月1日午後4時から 令和6年4月1日午後4時まで1年間
(注) 新中学3年生の期間は令和6年3月31日午後4時までとなります。

◆申込締切日 **令和5年3月24日(金) 中途加入は毎月受付中!**
◆加入依頼・払込 同封の払込取扱票にご記名のうえ、ゆうちょ銀行・郵便局でお支払いください。

自転車保険入っていますか??

埼玉県では2018年4月より自転車に乗る際の自転車損害保険等の加入が義務付けられています。

自転車による加害事故が増えています。所沢市内でも昨年900万円の賠償責任事故が発生しました。未成年が加害者になるケースも増えており、未加入の場合の金銭的負担は計り知れません。

事故を起こす前に・・・市P連の自転車保険にご加入ください!

3月24日まで加入すれば、4月1日から保険スタートします。

- 個人賠償責任補償が充実しています!
補償金額は**最高2億円!**
示談交渉サービス付き(日本国内のみ)、被保険者の**家族全員もれなく補償!**
- 保険料は1,900円(年間)から4タイプ!

詳しくは、配布された右のパンフレットあるいは市P連ウェブサイトをご覧ください。
<https://tokorozawa-pta.jp/insurance/>
自転車保険のご案内

★編集後記★
新しい時代に即した新しいPTAのあり方を模索し、各校では様々な取り組みをしています。子供たち一人ひとりが主人公となり、楽しく輝かしい学校生活を送れるよう、私たちには考えていかなければいけないと再確認しました。
『頑張れ、未来に羽ばたく所沢っ子!』